

METTS NEWSLETTER

教職課程センター・地域学校教育センター

特集 教員採用試験準備が本格化

METTS では、7月に迫った教員採用試験の対策を強化しています。一次試験までに約100コマの講習を組み、METTSの教員が一丸となって教員志望の学生の夢を叶えるための指導をしています。今年度は、教職課程を履修している34人の4年生（日本語学科17人、英米語学科16人、中国語学科1人）の内20人が、千葉県、東京都、川崎市、名古屋市の教員採用試験を受験する予定です。

1 筆記試験対策講座

教育原理、学習指導要領、教育法規、教育時事、教育心理、教育史、各自治体の教育施策といった分野から出題される教職教養対策と国語、英語の専門教養対策として、ビデオ講座を視聴しながら教員が解説を加えたり、独自教材を使用したりして試験対策を進めています。学生からは、「重要なポイントが同じ自治体で繰り返し出題されていることをMETTSの先生方が実例を挙げて解説してくださり、ポイントを絞った対策が重要だと感じた」「人に教えるためには、その何倍もの専門知識や技能を身につけなければならないことを痛感した」などの声が聞かれました。

2 論作文問題対策講座

東京都などの教員採用試験で課される論作文試験の対策として、読み手に伝わる論の立て方や力強さが伝わる書き方などについて添削指導を繰り返し行うことで学生が合格答案を書く力を身につけるようにしています。学生からは「論作文に取り組むことで、自分がどんな教師になりたいのかを深く考える機会になった」などの声が聞かれました。

3 面接試験対策講座

教員としての熱意、人間性、組織の一員として貢献できる力があるかどうかなどを様々な教育課題をテーマに質疑応答したり受験者同士が討論したりすることで、教師としての資質をみる面接試験の対策も強化しています。面接のモデルDVDを視聴した後、学生が自らの持ち味を面接官に伝えることができるよう模擬練習を繰り返し行って準備しています。学生からは「テーマを掘り下げていくように討論を進めることが、思っていた以上に難しいことが分かった」などの声が聞かれました。



願書出願指導と論作文対策講座の様子

2022年度教職課程履修者数

	日	英	中
1年生	30	21	
2年生	19	43	1
3年生	16	27	2
4年生	17	16	1
学科計	82	107	4
合計	193人		

日：日本語学科

英：英米語学科

中：中国語学科

（2022年5月23日現在）

日本語指導支援始まる

4月19日から、都立飛鳥高校、都立南葛飾高校に応用言語学専攻の大学院生3人、日本語学科の学生4人が赴き、在京外国人生徒の日本語指導支援に当たっています。

都立飛鳥高校全日制は週1回、定時制は週4回、都立南葛飾高校は週2回実施しています。

支援に当たっている学生の連絡会議が毎月開かれており、指導上の工夫や課題の共有が図られています。日常生活に必要な日本語能力を身につけることを当面の目標としている生徒や、日本の大学への進学を目指している生徒など様々な生徒への指導のための準備を入念に行っています。



「ドラフトゼミ」への新規参加者募集

特定非営利活動法人ワーカーズコープの主催する浦安市内の小学4年生から高校生を対象とする学習支援事業「ドラフトゼミ」の学習支援ボランティアとして本学の学生が参加しています。

4月7日には、英米語学科4年及川龍之介さん、日本語学科3年三森茉柊さん、英米語学科3年の上原二葉さん、児島晴香さんが、教職課程の学生向けにドラフトゼミへ参加することの魅力などについてプレゼンテーションを行いました。今年は新たに3年生1人と2年生5人が応募しています。



ちば！教職たまごプロジェクト

「ちば！教職たまごプロジェクト（以下「たまプロ」）」は、千葉県教育委員会・千葉市教育委員会が実施する、将来公立学校教員を志望する学生に向けた事業です。県内の学校での年間30日の実践研修を通じて、

- 教職への理解を深める
- 教員としての資質・能力を高める
- 採用後の教職員研修との円滑な接続を実現することを目的としています。

この「たまプロ」は2022年度より、明海大学「教職インターンシップ」として単位認定が可能となりました。今年度は9人の4年生学生がこれに参加し、年間を通じて中学校や義務教育学校で学級担任や教科指導の補助、学校行事の補助に取り組んでいます。

参加している学生からは、

「初めて英語の授業を参観した。初めて本物の授業を直接見たため、とても勉強になった」

「今日は、朝からあいさつ運動をして、歯科検診のお手伝いをした。先生方に『助かった』とか『ありがとう』って言ってもらって役に立っているという充実感があった」

「先生方の上手な授業をまねしても同じ授業にはならないと思った。前提として先生と生徒との信頼関係などがあり、まずはその関係性の構築が先にすべきことだと思った」

など、様々な感想が寄せられています。

今年度、「たまプロ」に参加している学生は、以下のとおりです。

- <日本語学科> 小川郁矢さん 小林恵奈さん
- <英米語学科> 及川龍之介さん 加藤天真さん
- 君塚翔伍さん 小林悠太さん 佐藤向日葵さん
- 椎葉晴斗さん 横田裕哉さん

教育実習がスタート

5月9日を皮切りに教育実習がスタートしました。今年度は34人の4年生（日本語学科17人、英米語学科16人、中国語学科1人）が約3週間の実習に臨みます。

教育実習ガイダンスを実施し、実習前にPCR検査を受け、陰性であることの証明をもたせるなど万全のコロナ感染症対策をしています。

アゴラ活用状況（人）

4月	1,014
2018年からの延べ数	39,499